

## 【 6 】

### 〔罪の告白〕

司式者) 神は真実で正しい方です。私たちが自分の罪を告白するなら、その罪を赦し、すべての不義から私たちを清めてくださいます。神の前に罪を認めましょう。

一同) 主よ、怒<sup>いか</sup>ってわたしを責<sup>せ</sup>めないでください  
憤<sup>いまだおこ</sup>って懲らしめないでください。  
主よ、憐<sup>あわ</sup>れんでください、わたしは嘆<sup>なげ</sup>き悲<sup>かな</sup>しんでいます。  
主よ、わたしの骨<sup>ほね</sup>は枯<sup>か</sup>れ、  
わたしの魂<sup>たましい</sup>は恐<sup>おそ</sup>れおののいています。  
主よ、いつまでなのでしょう。  
わたしは嘆<sup>なげ</sup>き疲<sup>つか</sup>れました。

(詩編 6 編)

### 〔赦しを求める祈り〕

司式者) 全能の神がわたしたちを憐れみ、罪を赦し、永遠のいのちに導いてくださるよう、祈りましょう。

(オルガン)

一同) 主よ、思い起こしてください。  
あなたのとこしえの憐<sup>あわ</sup>れみと慈<sup>いつく</sup>しみを。  
わたしの若いときの罪<sup>つみ</sup>と背<sup>そむ</sup>きは思い起こさず、  
慈<sup>いつく</sup>しみ深く、御<sup>み</sup>恵<sup>めぐ</sup>みのために主よ、  
わたしを御<sup>み</sup>心<sup>こころ</sup>に留<sup>と</sup>めてください。  
御<sup>ご</sup>覧<sup>らん</sup>ください、わたしの貧<sup>ひ</sup>しさ<sup>かさ</sup>と勞<sup>ろう</sup>苦<sup>く</sup>を。  
どうかわたしの罪を取り除いてください。  
主よ、あなたの御<sup>み</sup>名<sup>な</sup>のために、罪<sup>つみ</sup>深<sup>ふか</sup>い私<sup>わたし</sup>をお赦<sup>ゆる</sup>してください。  
私たちの主、イエス・キリストによって祈ります。アーメン。

(詩編 2 5 編)